

岩手県職労

月2回刊=1578号
2021年4月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

人事課長着任交渉

人事課長「勤務労働条件は組合と十分協議・理解と協力を」言及

現場実態踏まえた「人員増」こそ行わべき

4月21日、加藤勝章人事課総括課長と着任交渉を行った。加藤人事課長は、県職労の意見を真摯に聞き、誠意をもって応えると基本姿勢を示した。交渉では人員確保、手当改善、会計年度任用職員制度など継続課題を含む様々な課題改善を求めた。

【人員確保対策】

【答】4月時点の欠員は15人。昨年4月時点から31人減少するなど欠員が徐々に減少。【交渉】欠員は解消されたように見られるが、定数減に。行政需要は増大し、職場は依然疲弊している。実態に併せた体制強化を。職員訓練指導員の退職等

【専門職種の処遇改善】

【問】専門職種の確保のため、一層の処遇改善を。【答】獣医師（確保3／募集5）、薬剤師（確保1／募

【勤務意欲策】

【問】コロナ禍で職員が業務に専念できる、生計費維持と職員勤務意欲確保のため、様々な視点から工夫を重ね



▲様々な課題改善を求める県職労執行部



▲基本姿勢を示す加藤人事課長（手前）



▲若手土木職の課題を訴える高谷中執



▲職業訓練指導員確保を訴える飯坂中執

県職連合第30回
定期大会
県職労第126回
●日時 6月5日(土) 13時
●場所 盛岡市「勤労福祉会館」

各支部で新採用歓迎昼食会

加入者も続々と増加

前号に引き続き、県庁・花巻・胆江・一関でも新採用歓迎昼食会を開催。

【花巻支部】

4月7日(遠野)と4月14日(花巻)に新採用歓迎昼食会を開催した。参加した職場の先輩から「私にとって組合は癒しの場。仕事上で直接関係しない部署の仲間ともつながりが持てる」と組合を紹介し、新採用職員からは「DVDの写真がとても楽しそう。メリットを教えてください」等、感想が寄せられた。

【胆江支部】

3月の対策会議にて分会



▲花巻支部遠野分庁舎での歓迎昼食会のようす



▲一関支部での歓迎昼食会のようす



▲県庁支部での歓迎昼食会のようす



▲胆江支部での歓迎昼食会のようす

取り組む。【交渉】30代の優秀な土木職員や入庁10年未満の若手職員が辞めている。実態把握と対策を。【答】モニター制度などを活用し、勤務意欲を持って働けるよう進める。【通勤・住居・赴任旅費】異動を命ずる立場として

実態を把握し、職員の負担解消に努めるべき。【答】通勤手当や住居手当などは、人事委員会の勧告を受けて行うことが基本。赴任旅費の移転料は、国(実費支給方式)の制度運用の実態等を踏まえ、導入の可否を含めて今後検討。【交渉】内示後では引越

例年より早めの桜の開花だったが、今年もコロナの影響で寂しい花見の時期となった。この季節は次のフレーズを思い出す。「ビールと弁当は花見、地図と双眼鏡は犯行現場の下見」。4年前の当時の法務大臣の珍答弁だ。共謀罪は憲法が保障する基本的人権を侵すものであり、違憲との理由から反対運動が活発となり、国民が国会を包囲した。しかし、当時の安倍政権は国民の声を無視し、強行採決した。菅政権は安倍政治を継承し、経済優先の政治を続けた結果、コロナ感染症はまたしても拡大の事態に。憲法が保障する生存権を政治が守れない状況に陥っている。しかし、政治に不信を抱きつつも現状やむを得ないと受け止めている方が少なくない。憲法や立憲主義も無視した政治が続けられるのに、国民がこれほど政治のことを考えない国はなんと「不思議なクニ」(国家・国民)であると主張する論者も少なくない。5月3日は憲法記念日。憲法を振り返る重要な機会だ。憲法が軽視され、コロナ禍で生存権が失われている危機を前に「不思議なクニ」の国民のままでいいのか、真剣に考え、行動する時に来ている。

現業評

新体制確立・人事課長に課題申し入れ

関係主管室課にも継続課題改善求める

現業評議会は、3月26日に永洞俊司さん(盛岡・畜産研究所分会)を議長とする新体制を確立した。

4月16日には議長、副議長ら4役が加藤人事課長を訪問し、現業職場の実態を



▲課題を人事課長に説明する永洞議長(手前から2番目)



▲回答する加藤人事課長



▲農林水産企画室を訪問し、課題説明する現業評執行部(左)



▲県土整備企画室を訪問し、課題説明する現業評執行部(右)

もとに退職者補充(特に振興局土木部運転技士の新規補充)などを強く求め、2021現業闘争をスタートさせた。永洞議長は、「退職者の補充を引き続き要請する。昨年度からの継続課題は、各振興局土木部の運転技士の新規補充である。職場の総意としても必要であるとの声が大きいが、依然として実現できていないのは残念。ぜひ新規の運転技士の補充を前提とし、早

期に配置の方向性を決定いただきたい。これらの課題を含め、夏に改めて要求書を提出したい」と説明した。そのうえで、引継ぎ事項を中心に人事課長の姿勢を確認した。人事課長の回答は次のとおり。

①労使の基本姿勢

賃金・勤務時間等の労働時間の変更・決定に関しては、可能な限り理解と協力を得る姿勢で臨む。主管室

課と意思疎通をはかり、適切に対応していく。

②人員補充(継続課題)

振興局土木部の運転技士の配置は、所管区域の状況を踏まえた配置必要数、正規で配置する必要性、今後の特殊車輛の管理の在り方等を検討すべきであり、県土整備企画室と「運転業務の在り方・将来的なビジョン」を協議中。現場業務の状況等を把握しながら、将来にわたり運転業務を遂行するためのあらゆる可能性を考慮し、速やかに策定できるように検討を進める。

③賃金改善(継続課題)

勤務意欲確保に向け、勤勉手当の上位成績者区分の適用など対応してきた。今後においても、現業職員以外の職員の昇給・昇格制度の運用とのバランスを考慮し、できる範囲で対応を検討する。

職場実態点検から人員要求を

2021分会基礎調査に取り組もう

【人員要求は実態点検から】
2021年度も1月が経過し、業務が本格化している。当局は、震災復興の進捗を踏まえて震災復興定数を大幅減とし、行政需要に応じた増員を進めたうえで、欠員総数を大幅に減らしてきたと主張しているが、各職場で必要となる人員配置とは程遠く、あらゆる職場で定数増を求める取り組みが不可欠だ。

【会計年度任用職員の必要数等の報告を】
会計年度任用職員制度がスタートして2年目を迎える。会計年度任用職員の任用数も、予算都合を理由に大幅に削減された職場が多く、職員負担が増しており、

【今後の取り組み】
分会基礎調査結果を踏まえ、7月には知事あて人員確保要求書を当局に提出し、



分会単位で職場意見交換を行おう



▲金石支部で行われた会計年度任用職員の説明会のようす

は、「岩手県職員の採用、おめでとございます。一緒に県の職場で働けること、歓迎です。そのため組合では再度の募集時期を職場の方から聞き取りし、募集案内のお知らせをいたしました」と歓迎と金石支部の取組みを紹介しあ

報告。
加えて、自治労本部が作成した会計年度任用職員のパンフレットをもとに、組織化されている組合とされていない組合の給与、勤務時間や特別休暇の有給・無給の違いなどを説明し、組

合加入し権利などの改善を取り組むことを呼びかけた。4月19日・23日には当直専門員への歓迎会と組合の説明を行い、今後は水産技術センター分会でも開催する予定としている。
会計年度任用職員の一層処遇改善の実現のためには「数は力」の基となる県職労加入が不可欠。各支部・分会で県職労の運動成果を伝え、加入に結び付けよう(学習資料は支部書記局まで)。

組合加入で一層の処遇改善実現を

会計年度任用職員 歓迎会開催

4月12日、金石支部では会計年度任用職員の歓迎昼食会を開催し、34人が参加した。
歓迎昼食会で小原支部長は、「岩手県職員の採用、おめでとございます。一緒に県の職場で働けること、歓迎です。そのため組合では再度の募集時期を職場の方から聞き取りし、募集案内のお知らせをいたしました」と歓迎と金石支部の取組みを紹介しあ

討するとした。
そのうえで、加藤人事課長から継続検討しなければならぬ課題もあり、対応を検討するとの基本姿勢を引き出した。同日、管財課総括課長、農林水産企画室及び県土整備企画室の管理課長も訪問し、それぞれの人員配置の諸課題を説明し、具体的な検討を要請した。
現業評は今後、要求に向けて各支部に要求事項の議論を要請し、夏までに取り

まとめ、人事課及び関係主管室課に要求書を提出することになっている。
【現業評新4役体制】
議長 永洞 俊司 (盛岡・畜産研究所分会)
副議長 行 壽 英男 (県庁・管財課分会)
副議長 工 藤 明彦 (盛岡・畜産研究所分会)
事務局長 三 浦 誠 (県庁・管財課分会)
事務局次長 西 野 聖 (盛岡・畜産研究所分会)

ろうきんのキャッシュカードなら ATM お引出し 手数料24時間0円実質

※セブン銀行、ローソン銀行、イーネットでご利用の場合

他行ATM・CDお引出し手数料を ご利用回数分キャッシュバックする

ATMお引出し手数料「全額還元サービス」
ご利用手数料はほとんどご負担いただく場合がありますが、即時キャッシュバックいたします。

対象となるキャッシュカード ●普通預金 ●貯蓄預金
●カードローン(マイプラン・教育ローンカード型・生き生きカード)

2021年4月1日現在